

演芸プログラム

- 1、吹奏楽 「マッケンサンバ2」 祇園東中学校 吹奏楽部
「となりのトトロ セレクション」ほか
- 2、歌と演奏 「ありがとう」 原南小学校 4年生児童
ふじ山・うさぎ・赤とんぼ
見上げてごらん夜の星を
上を向いて歩こう
- 3、遊戯 「きつねダンス」 祇園幼稚園 年中園児
- 4、民踊 「ザ・ソーラン」 原南福寿会
- 5、舞踊 「串木野さのさ」 原南女性会 民踊グループ

令和五年度 第四十三回 原南学区敬老会

原南学区社会福祉協議会

令和五年度原南学区敬老会を九月十八日に原南小学校体育館で開催しました。

コロナ禍で長年中止となっておりましたが四年ぶりの開催であり、沢山のご長寿の方々に参加いただき感謝しております。

原南学区でも、高齢化が進み八十歳以上のお年寄りが五六〇名となり、年々増加してまいります。代理出席の方を含め、四四名の方のご参加がありました。各種団体による演芸を楽しく歓談していただきました。地域各組織によるご協力により無事に敬老会を終えることができて厚くお礼を申し上げます。



ステージは原南福寿会・民踊「ザ・ソーラン」

令和5年度原南学区敬老会地区別参加者一覧

(令和5年末80歳以上)

	招待者	参加者			出席率
		本人出席	代理出席	合計	
上町内会	66	17	4	21	31.8%
上第二町内会	122	31	7	38	31.1%
中町内会	114	25	3	28	24.6%
西町内会	104	21	6	27	26.0%
長和久町内会	21	6	0	6	28.6%
中通り自治会	133	22	2	24	18.0%
合計	560	122	22	144	25.7%



発行
原南学区社会福祉協議会
編集
広報委員会

参加者の声

卒寿を迎え

戸野寿美江

私は今年、卒寿を迎えて、これまでの幾星霜を思い、何か長寿を祝う記念にという気持ちで敬老会に参加しました。プログラムに沿って式典の挨拶そして演芸が行われました。祇園東中学校・吹奏楽、原南小学校・歌と演奏、幼稚園・遊戯、原南福寿会と原南女性会・民踊など、楽器演奏や歌と踊りを皆さん心を込めてのご披露で、私も皆さんと共に音楽とパフォーマンスに熱くなりました。敬老会でのこのような心地よい体験をさせて頂き、卒寿のいい記念になりました。ありがとうございました。感謝！

支え合いの地域を目指して！

原南学区社会福祉協議会

原南学区においても、高齢化や単身世帯の増加が進んでいます。原南学区社協は、住民同士の「共助」を推進することにより、支え合いの地域を目指し、次の事業について、連携・連動させるよう取り組んでいます。

●高齢者地域支え合い「原南支え合い」

ご近所の皆さんが協力して、高齢者の方へ声かけや見守りを行い、お互い支え合えるまちを目指します。見守りを希望される方、見守りに協力していただける方は、原南学区社協または東原・祇園東地域包括支援センターへご連絡ください。

●住民主体型生活支援訪問サービス

地域包括支援センターと連携しながら高齢者の「ちょっとした困りごと」の支援をしています。サービスの内容は、掃除やゴミ出し、家屋や家具の簡単な修理などがあり、高齢者が地域で自立していくための支援です。

●いきいきサロン

介護予防事業の一つで、高齢者の集い・通いの場であり、地域住民が主体となって運営・参加をおこない、だれでも参加できる交流の場です。4地区（上、中、西、下）で実施されています。

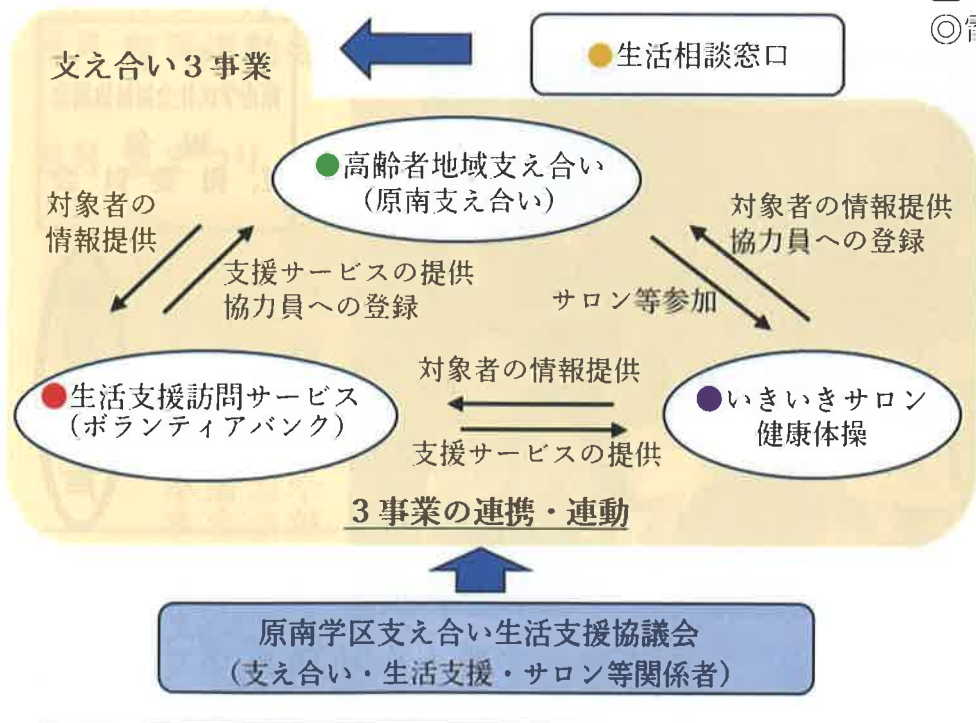
●生活相談窓口の設置

住民同士支え合いのまちづくりをすすめるにあたり、支え合い・支援が必要な人の情報収集・把握が最も重要な課題です。次のとおり、総合相談窓口を設置しておりますのでお気軽にご相談ください。スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております。

相談窓口 毎週 月曜日から土曜日
相談時間 13時～15時
場 所 原南集会所内 社協相談室
☎ 082-962-9898 (FAX共通)
◎電話でも受け付けます

原南学区生活支援体制

(イメージ図)



令和5年度原南学区募金実績額

街 頭 募 金	募 金
中 町 内 会	63,218
中 通 り 自 治 会	153,000
西 町 内 会	59,800
上 町 内 会	57,500
上 第 二 町 内 会	51,000
長 和 久 町 内 会	36,000
学 区 内 有 志 募 金	24,000
合 計	154,000
	598,518

(令和5年12月31日現在：単位円)

令和5年度 共同募金

原南学区においては、令和5年10月1日、フレスタ祇園店とゆめテラス祇園の2か所で街頭募金活動を実施しました。当日の募金活動参加者は、民児協5名、女性会4名、更生保護女性会1名、社協3名の13名でした。街頭募金額は、昨年度とほぼ同様の6万3218円でした。

また、街頭募金のほか町内会・自治会での個別募金や学区内有志の募金が大きな割合を占めており、関係者のご協力に深く感謝いたします。今年度の原南学区共同募金実績額（12月末現在）は、右上のとおりです。



いきいきサロン

西地区

西町内会いきいきサロンでは、たこ焼きを焼いて食べたり、グラウンドゴルフやペタンクをしたり、いつも楽しく活動しています。

八月はオセロやトランプでゲーム大会を、十一月、十二月は恒例の干支の置物を子ども会の皆さんと一緒に作りました。子ども達にはいつも元気をもらっています。良い交流がこれからも続けていけたらいいと思います。



今後もペタンクやグラウンドゴルフ、包括支援センターの方を講師に迎えての勉強会などを計画していきます。興味のある行事だけの参加でもOKです。町内会の掲示板で毎月案内をしていますので、お気軽にご参加ください。

中地区

まだまだ猛暑の九月でしたが、コロナ禍から漸く解放され、後半のスタートは、恒例の支援センターの地区担当の方を講師に招いて「特殊詐欺被害」の予防現状についてのお話でした。ますます巧妙になった手口には驚きの連続でした。十月は、秋の気配を感じながら、ちよつとしたバス旅行を企画して、初めて古江の炭火割烹の「厳遊庭」に出かけました。天候に恵まれて風光明媚な瀬戸内海を一望しながら、豪華で、楽しい食事に皆さんで満喫したひと時を過ごしました。十一月は集会所で、みんな得意のペタンクを楽しみ、十二月は、早々に忘年会を兼ねて、ビンゴゲームで商品を選ぶ楽しみ、コロナを忘れて久方ぶりの顔を合せて食事会。この一年を乗り越えた安堵した気分のサロンでした。

「腰が痛いんよ」「一人で家にいると、こんなに大声で笑わんね」などの声もあり、爆笑の中、頑張りました。成績は、ご想像におまかせします。次回は新年会。歌って踊って？ゲームです。みなさんの参加をお待ちしております。



下地区

九月は東原・祇園東地域包括支援センター長の久保田氏を講師に「ACP」人生会議について勉強しました。もしもの時に備えて、思いを伝えたいことは本当に大切だと思いました。

十月はビンゴゲーム。十一月はボーリング大会。十二月は、子供会行事「餅つき大会」に参加しました。子供達と小餅を丸める作業を楽しみ、美味しいぜんざい等を頂きました。御世話して下さい方々に感謝し、来年も元気に参加したいと思った楽しいひとときでした。



上地区

九月、各々の思い出の曲名とその理由を発表し大いに盛り上がりました。十月、グラウンドゴルフ。十一月「お手玉遊び」は色々遊び方を懐かしむ一日でした。十二月、恒例のクリスマス会。民生委員さんのお世話で歌、輪投げなど参加者40名で楽しみました。



「腰が痛いんよ」「一人で家にいると、こんなに大声で笑わんね」などの声もあり、爆笑の中、頑張りました。成績は、ご想像におまかせします。次回は新年会。歌って踊って？ゲームです。みなさんの参加をお待ちしております。

四 人生の先輩として一言
 人生の先輩として一言はと言われると、自分の後悔した反面教師の言葉しか浮かばない。一流になることではありませんが、何事も、基礎をしっかり身に付けること、小さい頃の息子に何度も暗示にかけながら。でも自分でできなかつたことを今でも追い続けている所です。

三 生き甲斐は何ですか
 生き甲斐はなんですか？と問われると直ぐに、豊鏢（カクシヤク）という字を思い出します。八十六歳の今でもまだ細々と仕事への熱い思いが続く限り、豊鏢として頑張ってみようかと思つていきます。

二 今までで一番の思い出
 昭和三十七年の春、九州の宮崎から広島商社に就職。中国地方を走り回っていましたが、その年の十二月生まれて初めて広島で雪が降るのを見た時の感動は、今でもハッキリ目に焼き付いています。また急行チドリで松江に行くと膝一杯の雪に、また感動したものでした。昭和三十八年一月大雪の年だったと後で聞いて驚きでした。

一 健康への心掛け
 今、一番私の健康に苦勞しているのは、日によつて痛みが変わる腰、膝の具合の手立てです。腰、膝の最初の痛みが張つた時の安易な治療を反省しています。今、二本の介護用杖を共にして散歩をノルマにしています。



中町内会
 高野 誓吾
 (八十六歳)

元気なお年寄り

～この1年、各地区・団体さまざまな行事が再開しました～

5月 町民運動会

9月 敬老会

10月 秋まつり

中通り自治会秋祭俵神輿

8月 夏まつり



イヤー めでためでたが
 トコセハリセ
 三つ重なりて・・・

餅まきに子ども大興奮



西原胡神社例大祭

1月 とんど

上地区



中地区



河川敷に2組そろいました

編集後記

広報紙「社協 原南学区」が第一〇〇号となりました。これまで記事をお寄せいただいた皆様、ここまで発行を繋げていただいた歴代の社協役員・広報委員の皆様へ感謝申し上げます。これからも地域のつながりを大切に、発行してまいります。

社協会長 金剛丸 襄
 広報委員長 鷹廣 純

このほかにも多くの行事が再開しています。地域のつながりを大切に、今後とも皆様のご協力、ご参加をお願いします。